

不定詞 形容詞的用法	<p>We have various things to translate. (私たちは、翻訳すべきものがいろいろあります。)</p>
---------------	--

① 不定詞の形容詞的用法「…するための」「…すべき」⇒【to+動詞の原形】
名詞や代名詞の後ろに置いて、「…するための(名詞)」「…すべき名詞」という意味で使う。
このとき、不定詞が直前の名詞、代名詞を修飾する。
このため、不定詞の形容詞的用法という。

Ms.Tanaka, a translator there, explained her job, and we translated some sentences.

その通訳者の田中さんは彼女の仕事の説明をして、そして私たちはいくつかの文を訳しました。

a translator there, はMs. Tanakaの説明になっているので、この文の動詞はexplained「…を説明する」となる。

It was difficult, but I enjoyed it a lot.

それは難しかったです、私はとても楽しみました。

Itは代名詞で、上の文のwe translated some sentencesを指す。

I knew that English is important, but I learned that there are other things to study.

私は英語が大切であることは知っていましたが、勉強すべきほかのことがあると学びました。

thatは省略可能。不定詞のto studyは前のother thingsを修飾し、「勉強すべき他のこと」という意味になる。

You need to develop your sense of language.

あなたは言葉のセンスを発達させる必要があります。

need to+動詞の原形は「…する必要がある」という意味。

If you are interested in something, you should continue to learn about it.

もし、あなたが何かに興味があったら、それについて学び続けるべきです。

shouldは「～すべき」という意味の助動詞、「continue to+動詞の原形」で「…し続ける」という意味。

① その通訳者の田中さんは彼女の仕事の説明をして、そして私たちはいくつかの文を訳しました。

② それは難しかったです、私はとても楽しみました。

③ 私は英語が大切であることは知っていましたが、勉強すべきほかのことがあると学びました。

④ あなたは言葉のセンスを発達させる必要があります。

⑤ もし、あなたが何かに興味があったら、それについて学び続けるべきです。